2025

77

亀ケ崎福祉だより

〈題字〉酒田三中 三年　堤 もも さん

秋来ぬと目にはさやかに見えねども
風の音にぞおどろかれぬる（藤原敏行）
暑い夏から秋へ。こんな和歌を思い出して、しみじみ。

パンフラワーの百合

遠くの親戚より近くの他人

亀ケ崎社会福祉協議会
会長 大渕 光一

4月から会長になりました大渕です。本協議会が地域のみなさんのご理解とご協力そして何よりもあたたかな善意のこころで支えられていることを実感しています。

山形県は3世代同居率が2000年の国勢調査から連続5回全国1位となってはいるものの、この地区でも高齢者夫婦だけの世帯や独居老人世帯の割合が年々増加しつつあります。

そうした状況の中で昨年7月の豪雨災害はまだ記憶に新しいものですが、河川の氾濫に至らずとも内水害（排水溝等が処理しきれず道路に雨水が溢れ出てしまう）が心配されるような極端な雨が増えています。酒田市が亀ケ崎地区内に設置した浸水センサーによれば今年8月だけでも道路冠水が4日延べ9カ所も観測されました。

防災無線やSNS等の情報伝達手段は格段に進歩しましたが、災害や万が一の時に頼りになるのは「遠くの親戚より近くの他人」、ご近所や地域のみなさんの助け合いや協力、人のちからです。ここに暮らすみなさんが安心して暮らせる支え合いの地域を目指して今年度も活動を続けてまいります。

みずほ青年部

町内の潤滑油たれ!

第１回モルック大会にて

酒田市内においては比較的「新しい町」である「みずほ一丁目」。以前は田んぼや畑だった土地に、昭和58～59年頃より家が建ち始め、子ども会が昭和60年、自治会組織が61年、自治会館が62年建設。そうした中「青年部」も発足したようである。

現在の青年部メンバーは元亀城小学校ＰＴＡ役員や子ども会歴代会長が中心。その経験やスキルを活かし「町の潤滑油に」と、40代から60代（まだ青年部である！）の心ある頼もしい面々が集まってくれている。

夏祭りの実行委員、子供神輿などの子ども会行事へのサポート、三中生の三コミ活動のサポート、敬老会のお手伝いなどなどその活動は多岐にわたる。とりわけ亀ケ崎学区体育振興会行事へは、かなり意欲的に参加、協力。コロナ以降の亀ケ崎学区第1回モルック大会では、みずほ一丁目チームが優勝、準優勝、4位と上位独占。また今年7月に開催された酒田市ニュースポーツ大会ではカローリング競技で優勝も。そうして亀ケ崎学区内において確固たる地位を築いているのがはと。それら全ての中心にいるのが青年部のメンバーである。

青年部と子ども会で
夏祭りの櫓建て

どこで打ち合わせや意思疎通を？なんと毎月行われるみずほ一丁目定例会後の恒例「飲み会」である。いわゆる「ノミュニケーション！」もう死語？そう、まさかの昭和チックな集いが毎月自治会館で繰り広げられる。自治会長を始めとする三役や青年部、子ども会などの主要メンバーが様々な話題（雑談がほとんどだが）を提供する。みずほ一丁目の組織がまずまずうまく運営されている源流はここにあるのかも知れない。そうして定例会後、青年部メンバーは町内の酒場へと流れていくのである。

より安全安心で暮らしやすい町のため、活気ある町のため、そして子ども達が健全に育ってくれる町を目指し、これからも〝実行部隊〟としてやれることをやり続けていくつもりである。

みずほ一丁目 青年部長　大場 直人

健康一口メモ

太った、疲れが取れない、朝食が食べられない原因は？

夜の遅い食事が原因かも

- 夜遅い食事は太りやすい
- 睡眠や消化にも影響が

✕ 油の多い食品や調理法、脂肪の多い肉

○ 低脂肪食品や野菜、きのこ類

- **生野菜サラダより温野菜サラダがおすすめ**
  温野菜サラダにすれば、かさが減って食べやすく、消化にも良くなります
- **汁物にも野菜をたっぷりと**
  汁物に入れれば野菜をたくさんとることができます

体にやさしい、良いものを選びましょう

編集後記

あまりの猛暑に庭の水やりをあきらめました。みるみる枯れて正月飾りの豆殻のようになりましたが、2度ほどまとまった雨が降るとなんと小さな緑の葉が顔を出しています。

あいやおぼげだおらー!! 今、秋明菊は何もなかったかのように白と赤紫のたおやかな花を咲かせています。（み）

令和7年度編集委員

阿部 宣子・江口 暢子・大江 美千・大場 直人
大渕 光一・小川 浩一・田澤　薫　（50音順）

子どもを真ん中においた亀スポ

酒田市立亀ケ崎小学校

「亀ケ崎小学校大運動会」から「亀っ子スポーツフェスティバル」になってから今年で3年目になります。子ども達が主体となって、「競い合う」ことから「みんなが笑顔になる」ことを期して児童会を中心に内容を検討してきました。

まず、チーム決めです。走力などで決めるのではなく、1～6年生の縦割りのなかよし班ごと体育館で一斉にくじを引き、赤組・青組・黄組を決めます。当日の競技だけではなく、清掃を協力し合ったり、一緒に遊んだりしながら班の仲間との絆を深めていきます。

また、競技種目は「協力できること」「みんなが楽しめること」などを加味して毎年更新しています。昨年度の経験を生かしながらもさらに良いものを目指して種目や内容を子ども達が時間をかけて話し合って決めています。

最後に行う「TEAM（チーム）亀ケ崎」では、昨年度はみんなで一日を振り返り、思いを込めてシャボン玉を飛ばしました。今年はどんな内容にするか、みんなの笑顔を思い浮かべながら5、6年生の実行委員たちが知恵を出し合っています。

全校児童みんなが心を一つにして亀っ子スポーツフェスティバルを作り上げ、盛り上げていきます。みんなが笑顔いっぱい頑張る姿をぜひ応援してください。

亀っ子スポフェス

地域と共に

酒田市立第三中学校

今年度も地域と共にある学校を目指して、地域の皆様のご協力、ご支援を得ながら、「三コミ活動」、「マコモ植栽」などの地域貢献活動を行ってきました。

「三コミ活動」は、自治会長さんはじめ、地域の皆様から支えられて20年以上継続してきた活動です。今年度は地区生徒会長の保護者の方に地域活動協力員をお願いし、学校、地域、保護者の連携がスムーズに行えるように少し改善を加えました。

「マコモ植栽」には約140人の生徒が参加し、白鳥を愛する会の皆さんと一緒に活動を行いました。当日は最上川の水位が高かったため清掃活動に変更となりましたが、三中生の白鳥と地域への「愛」を行動で示すことができました。

また、今年度新たに、亀ケ崎コミセンで開催された「おもしろ広場」の運営スタッフとして、女子卓球部の3年生をはじめ9名の三中生が活躍しました。特に、3Dプリンターを使っての科学教室では、事前に講習会にも参加し、小学生に科学の楽しさを体験を通して伝えていました。

今後も、地域の一員としてより良く生きていこうとする生徒を地域と共に育てていきたいと思っています。

夏休みのマコモ作業

おもしろ広場 科学教室

亀ケ崎社会福祉協議会とは

学区・地区のみなさん（社会）が、しあわせ（福祉）のため、相談し決めていく（協議）団体（会）です。

地域のみなさんが安心して暮らせるような支え合いの地域づくりを目標に活動していますが、特に高齢者の方など何らかの支えが必要なみなさんをサポートする事業をおこなっています。

組織の概要（令和7年度）

亀ケ崎地区の自治会、民生児童委員、福祉協力員、ふれあいの会（旧女性部連絡協議会）、スポーツ振興会（旧体育振興会）、老人クラブ連合会、こども会育成連絡協議会、亀ケ崎小PTA、三中PTA、福祉ボランティアなど幅広い組織・団体で構成されています。

（会長・副会長は任期2年）

（　）内は令和7年10月末現在
※部分（　）のない団体名は組織としての加盟となります。

奥山副会長

今年度のおもな活動紹介

渡部副会長

【生きがいふれあい事業】

1. 見守りネットワーク支援事業（支援が必要な方の見守り活動）
2. 地域あんしん事業・地域交流いきいきサロン事業（自治会の実状に応じた活動支援）
3. 介護予防野外講座（外出機会の少ない高齢者のリフレッシュと交流拡大）
4. 高齢者ふれあい給食事業（年7回の配食サービス）　など

【基盤強化活動】

1. 協議会の合同会議や研修会の開催
2. 自治会長、民生児童委員、福祉協力員の情報交換会の開催　など

【福祉教育事業】

1. 福祉ボランティア養成研修会の開催
2. 民生児童委員、福祉協力員合同研修会の開催

【啓発事業】

会報「亀ケ崎福祉だより」の発行（年2回）

亀ケ崎社会福祉協議会では、外出の機会が少なくなりがちな高齢者の方の心身のリフレッシュと交流を深めるため「介護予防 野外講座」の開催や、自治会毎に実施される地域での交流活動を支援していますので、ぜひご参加ください。また、みなさんからのご意見やご要望もお待ちしています。

茂木副会長